

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療関係職種実習施設指導者等養成講習会費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	①平成8年度～ ②平成22年度～		担当課室	歯科保健課		課長：上條英之		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-3 医療従事者の資質の向上を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	①平成22年度 歯科技工士実習施設指導者等養成講習会実施団体公募要領 ②平成22年度 予防・在宅歯科医療等対応教員養成講習会実施団体公募要領				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歯科技工士養成所及び歯科衛生士養成所の指導者の資質の向上を図り、歯科技工士、歯科衛生士の知識、技術等の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	① 歯科技工士実習施設指導者等養成講習会 全国の歯科技工士養成所の指導者の資質を高め、多様化する歯科補綴に対応できる歯科技工士の養成を行う。 ② 予防・在宅歯科医療等対応教員養成講習会 全国の歯科衛生士養成所の指導者の資質の向上を図り、高齢者や在宅療養者の口腔管理や食育推進を行うことができる歯科衛生士の養成を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	/					
		繰越し等	/					
		計	1	1	4	4	4	
	執行額	1	1	4	/			
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	/			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	指導者の質を示す定量的な指標なし		成果実績					
			達成度	%				/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	受講者数		活動実績 (当初見込み)	人	10	14	131 (165)	— (131)
単位当たりコスト	29,550(円/人)		算出根拠	22年度執行額/22年受講者数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝金	1.5	1.5					
	旅費	2	2					
	庁費	0.6	0.6					
計	4	4						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後も執行状況等を踏まえて、事業の内容や予算について改善していく点がある場合には、的確に反映してまいりたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状 通り	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
予算の執行状況等を踏まえ、予算の効率的な執行に努める。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
4百万円

【補助(公募)】

A 団体等 (2)
4百万円

- ① 歯科技工士実習施設指導者等養成
- ② 予防・在宅歯科医療等対応教員養成

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.全国歯科技工士教育協議会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
報償費	講師謝礼など	1			
旅費	講師・事務員旅費	1			
使用料及び 賃借料	会場使用料、PCレンタル	1			
その他	印刷製本、需用費など	0.6			
計		3.6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国歯科技工士教育協議	歯科技工士実習施設指導者等養成及び予防・在宅歯科医療等対応 教員養成講習会の実施	3.6		
2	神戸常盤大学	予防・在宅歯科医療等対応教員養成講習会の実施	0.2		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					